

教科	福祉	科目	介護福祉基礎		必修・選択の別	必修
単位数	3	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	7 実教 福祉702 介護福祉基礎			副教材等	実教 介護福祉基礎学習ノート	
分割履修の有無（学年）		有（2年）		授業形態	一斉	

科目の到達目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護に関する知識と技術を身に付け、人間の尊厳を支え自立支援に必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指している。		
知識及び理解	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
介護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付いている。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付いている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付いている。

学習の評価				
	学習活動、指導上の留意点等	A：十分に到達できている	B:一部は到達できている	C:到達に努力を要する
知識・技能	人間の尊厳や自立支援、介護従事者としての職業倫理、国際生活機能分類などに関連付けて学習させる。	尊厳を支える介護、自立に向けた支援などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けることができた。	尊厳を支える介護、自立に向けた支援などについて理解した。	尊厳を支える介護、自立に向けた支援などについて理解しようとしている。
思考・判断・表現	豊かな人間性や倫理観を育み、自立支援の観点に基づいた適切な介護福祉サービスを提供する態度を養うことができるよう留意して学習させる。	介護に関する意義と役割などについての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、創造的に解決する力を身に付けることができた。	介護に関する意義と役割などについての課題を発見し、自分の言葉で表現したり、解決する力を身に付けることができた。	介護に関する意義と役割などについての課題を発見したり、解決したりしようとした。
主体的に学習に取り組む態度	プライバシーの保護や自己決定の保障、継続的な地域生活の支援などの人権尊重の意義や重要性について理解できるよう留意して学習させる。	介護に関する意義と役割、介護の必要性について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができた。	介護に関する意義と役割、介護の必要性について自ら学んだり、主体的に取り組む力を身に付けたりすることができた。	介護に関する意義と役割、介護の必要性について自ら学んだり、主体的に取り組んだりしようとした。

提出物	学習ノート、学習を記録したプリント、課題レポート
評価方法	評価観点別に、年4回の定期考査、小テスト、提出物、レポート等の学習への取り組み状況などを総合的に評価
評価割合（％）	知識・技術（50） ・思考・判断・表現（30） ・主体的に学習に取り組む態度（20）
関連する資格・検定	・介護福祉士国家試験受験資格 ・介護職員初任者研修 ・社会福祉介護福祉検定1～3級

学習計画		単元名	学習内容	評価方法	備考
前 期	第1回 回 考 査 ま で	第3編 介護を必要とする人の理解 と支援 第2章 高齢者の生活と支援 第3章 障害者の生活と支援	1 高齢者の活動 2 高齢者をとりまく環境の考え方 3 高齢者の生活支援  1 障害とは何か 2 肢体不自由者の生活と支援 3 視覚障害者、聴覚・言語障害者の生活 と支援 4 内部障害者の生活と支援 5 知的障害者の生活と支援 6 発達障害者の生活と支援 7 精神障害者の生活と支援	①知識・技能 定期考査、 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習を記録したプリント等 の総合評価	
	第2回 回 考 査 ま で	第5章 介護福祉サービスの概要	1 介護サービスの利用方法 2 介護サービスの場の特性（在 宅） 3 居宅介護サービス 4 地域密着型サービス 5 介護サービスの場の特性（施 設） 6 施設サービス 7 障害者支援サービス 8 障害者支援サービスの実際	①知識・技能 定期考査、 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習を記録したプリント等 の総合評価	
後 期	第3回 回 考 査 ま で	第4編 介護における安全確保と危 機管理 第1章 介護における安全と 事故対策 第2章 介護従事者の健康管理	1 介護におけるリスクマネジメント 2 事故予防のための対策 3 介護現場で多い事故 4 身体拘束の禁止 5 介護現場における防災対策  1 健康管理の重要性 2 心理面の健康管理 3 身体面の健康管理 4 労働安全衛生に関する知識	①知識・技能 定期考査、 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習を記録したプリント等 の総合評価	
	第4回 回 考 査 ま で	第3章 感染対策 第4章 福祉用具と介護ロボット	1 感染症の理解 2 感染症の予防策 3 介護現場で出会うことの多い感 染症  1 福祉用具と介護ロボットの必要 性 2 福祉用具と介護ロボットの有効 的な活用	①知識・技能 定期考査、 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習を記録したプリント等 の総合評価	

準備物及び学習へのアドバイス 等

準備物：教科書、ファイル、学習ノート、タブレット端末

アドバイス：利用者の方々の生活を支える上で必要な基本的な知識となりますので、  
興味や関心を持って授業に臨んで下さい。

教科	福祉	科目	生活支援技術		必修・選択の別	必須
単位数	4	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	実教 生活支援技術			副教材等	自主教材 最新・介護福祉士養成講座15 医療的ケア	
分割履修の有無（学年）		有（1・2学年）		授業形態	一斉（座学・演習）	

科目の到達目標

介護従事者として医療的ケアを必要としている利用者に、安全でかつ的確な医療的ケアの理解及び実施ができるように、関連する医療的な知識及び技能を正しく身に付けるとともに、医療職との連携の重要性について理解を深める。

知識及び理解	思考力，判断力，表現力	学びに向かう力，人間性等
医療的ケアに必要な医療の専門知識及び実施手順について正しく習得するとともに、これまでの学習内容と統合し、安全なケアの実施につなげることができる。	安全で的確な医療的ケアが実施に向けて必要な課題を見出し、これまでの学習内容を活用し、科学的根拠にもとづいた解決ができる。	医療的ケアが利用者に直接的な影響を与えるケアであることを理解したうえで、技術の向上や協働的に取り組む姿勢につなげることができる。

学習の評価

	学習活動，指導上の留意点等	A：十分に到達できている	B：一部は到達できている	C：到達に努力を要する
知識・技能	医療的ケアに必要な医療の専門知識及び実施手順について正しく習得するとともに、これまでの学習内容と統合し、安全なケアの実施につなげることができる。	医療的ケアに必要な医療の専門知識及び実施手順について正しく習得するとともに、これまでの学習内容と統合でき、安全なケアの実施につなげることができた。	医療的ケアに必要な医療の専門知識及び実施手順について正しく習得するとともに、これまでの学習内容と統合に努め、安全なケアの実施につなげることができた。	医療的ケアに必要な医療の専門知識及び実施手順について正しく習得するとともに、これまでの学習内容と統合に努め、安全なケアの実施につなげようとする姿勢が見られた。
思考・判断・表現	安全で的確な医療的ケアが実施に向けて必要な課題を見出し、これまでの学習内容を活用し、科学的根拠にもとづいた解決ができる。	安全で的確な医療的ケアが実施に向けて必要な課題を見出し、これまでの学習内容を適切に活用し、科学的根拠にもとづいた解決ができた。	安全で的確な医療的ケアが実施に向けて必要な課題を見出し、これまでの学習内容を活用し、科学的根拠にもとづいた解決に取り組んだ。	安全で的確な医療的ケアが実施に向けて必要な課題を見出し、これまでの学習内容を活用しようとする姿勢、科学的根拠にもとづいた解決に取り組む姿勢が見られた。
学習主体に組み込む態度	医療的ケアが利用者に直接的な影響を与えるケアであることを理解したうえで、技術の向上や協働的に取り組む姿勢につなげることができる。	医療的ケアが利用者に直接的な影響を与えるケアであることを十分理解したうえで、技術の向上や協働的に取り組む姿勢につなげることができた。	医療的ケアが利用者に直接的な影響を与えるケアであることを理解したうえで、技術の向上や協働的に取り組む姿勢が見られた。	医療的ケアが利用者に直接的な影響を与えるケアであることを理解しようとする姿勢、技術の向上や協働的に取り組む姿勢につなげようとした。

提出物	学習プリント、各種課題、演習レポート（評価票）
評価方法	年4回定期考査（観点別の問題）、小テスト、各種提出物、演習レポート、班やペアでの取り組み状況、学習全般への取り組み等を観点別に照らし合わせ総合的に評価
評価割合（%）	知識：技術（60）：思考・判断・表現（20）：主体的に学習に取り組む態度（20）
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目

学習計画		単元名	学習内容	評価方法	備考
前 期	第1回 回 考 査 ま で	第1章 医療的ケア実施の生活  第2章 喀痰吸引	1 医療的ケア 2 安全な療養生活 3 救急蘇生法（演習含む） 4 清潔保持と感染予防 5 健康状態の把握  1 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 2 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説（演習含む）	①知識・技能 定期考査 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、小テスト、課題レポート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習プリント、課題レポート等の総合評価	
	第2回 回 考 査 ま で	第2章 喀痰吸引  第3章 経管栄養	2 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説・手引き（演習含む） ・口腔内（5回以上） ・鼻腔内（5回以上） ・気管カニューレ内部（5回以上）  1 高齢者および障害児・者の経管栄養概論	①知識・技能 定期考査 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、小テスト、課題レポート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習プリント、課題レポート等の総合評価	
後 期	第3回 回 考 査 ま で	第3章 経管栄養	1 高齢者および障害児・者の経管栄養概論 2 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説・手引き（演習含む）  ・胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（5回以上） ・経鼻経管栄養（5回以上）	①知識・技能 定期考査 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、小テスト、課題レポート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習プリント、課題レポート等の総合評価	
	第4回 回 考 査 ま で	第3章 経管栄養	2 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説・手引き（演習含む）  ・胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（5回以上） ・経鼻経管栄養（5回以上）	①知識・技能 定期考査 小テスト等の総合評価  ②思考・判断・表現 定期考査、小テスト、課題レポート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 学習プリント、課題レポート等の総合評価	

準備物及び学習へのアドバイス 等

準備物：教科書、副教材、ファイル、タブレット端末、実習着一式

アドバイス：「医療的ケア」は、医療行為を医療職に代わって行う生活支援技術です。命に直結する行為であることを理解し、知識と技術の習得に全力を注いでください。

教科	福祉	科目	介護総合演習		必修・選択の別	必須
単位数	2	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	なし			副教材等	なし	
分割履修の有無（学年）		有（1・2学年）		授業形態	一斉	

科目の到達目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を身に付ける。		
知識及び技術	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付ける。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

学習の評価				
	学習活動、指導上の留意点等	A：十分に到達できている	B：一部は到達できている	C：到達に努力を要する
知識・技術	地域福祉や福祉社会について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	福祉に関する他の科目で学んだ知識と技術を関連させながら、介護実習で身に付けた知識や技術を具体的にまとめることができる。	福祉に関する他の科目で学んだ知識と技術を関連させながら、介護実習で身に付けた知識や技術をまとめることができる。	介護実習で身に付けた知識や技術をまとめることができる。
思考・判断・表現	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、介護従事者に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。	介護実習に関する自己の課題を発見し、介護従事者に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、解決する方法を具体的に述べている。	介護実習に関する自己の課題を発見し、介護従事者に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、解決する方法を述べている。	介護実習に関する自己の課題を発見し、介護従事者に求められる倫理観を踏まえ、解決する方法を述べている。
主体的に学習に取り組む態度	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む。	福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に専門職としての支援の在り方を具体的に述べている。	福祉の見方・考え方を働かせ、主体的に専門職としての支援の在り方を述べている。	福祉の見方・考え方を働かせ、専門職としての支援の在り方を述べている。

提出物	授業振り返りシート、施設実習の振り返りシート（2回）、実習のまとめ
評価方法	授業振り返りシート、施設実習の振り返りシート（2回）、実習のまとめ等を総合的に評価
評価割合（%）	知識・技術：40% 思考・判断・表現：30% 主体的に学習に取り組む態度：30%
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格

学習計画		単元名	学習内容	評価方法	備考
前期	第1回 回 考 査 ま で	介護演習	・介護実習Ⅱの意義、役割 ・介護実習Ⅱに向けた準備 （行動計画の作成等） ・介護福祉士倫理綱領 ・介護実習振り返り （5/13～6/10）	①知識・技能 筆記試験 ②思考・判断・表現 筆記試験、実習・授業振り返りの記述内容 ③主体的に学習に取り組む態度 実習・授業振り返りの記述内容	考査なし
	第2回 回 考 査 ま で	事例研究	事例研究発表会	①知識・技能 実技試験 ②思考・判断・表現 実技試験（アピール内容）、 授業振り返りの記述内容 ③主体的に学習に取り組む態度 授業振り返りの記述内容	
後期	第3回 回 考 査 ま で	介護演習	介護実習振り返り （6/24～9/2）	①知識・技能 振り返りの記述内容 ②思考・判断・表現 振り返りの記述内容 ③主体的に学習に取り組む態度 振り返りの記述内容	考査なし
	第4回 回 考 査 ま で	事例研究	実習のまとめ作成	①知識・技能 Keynote等のプレゼンテーション アプリの記述内容等 ②思考・判断・表現 Keynote等のプレゼンテーション アプリの記述内容等 ③主体的に学習に取り組む態度 Keynote等のプレゼンテーション アプリの記述内容等	

準備物及び学習へのアドバイス 等

- ①「介護過程」及び「介護実習（校外）」と関連付けて指導を行います。
- ②「介護実習（校外）」の事前・事後指導（実習に必要な書類・お礼状作成等）を兼ねています。
- ③実習のまとめは、事前に学級内で発表会を行い、代表者を選出します。  
代表者は、1月の科集会で全学年に向けて発表します。

教科	福祉	科目	介護実習		必修・選択の別	必須
単位数	3	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	なし			副教材等	なし	
分割履修の有無（学年）		有（1・2学年）		授業形態	実習・演習	

科目の到達目標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域における継続した生活を支援する知識と技術を身に付け、サービス利用者主体の生活支援に必要な資質・能力を身に付ける。		
知識及び技術	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
介護及び支援の実践について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付ける。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

学習の評価				
	学習活動、指導上の留意点等	A：十分に到達できている	B:一部は到達できている	C:到達に努力を要する
知識・技術	入所施設における実習において、サービス利用者主体の生活支援ができるよう、専門的な知識や技術を関連づけて取り組んでいる。	入所施設実習に意欲的に取り組み、専門的な知識や技術を関連づけながら、サービス利用者に応じた生活支援を実践できた。	入所施設実習に取り組み、専門的な知識や技術を関連づけて介護過程を実践できた。	入所施設実習に取り組んだ。
思考・判断・表現	入所施設実習に意欲的に取り組み、専門的な知識や技術を関連づけながら、サービス利用者主体の介護過程を実践できた。	入所施設実習を通して、学んだ知識と技術を関連させながらサービス利用者主体の介護を実践し、成果と課題を記録することができた。	入所施設実習を通して、学んだ知識と技術を関連させながら実践し、成果と課題を記録することができた。	入所施設実習を通して、学んだ知識と技術を生かして実践し、成果を記録することができた。
主体的に取り組む学習態度	入所施設における実習において、自己の課題と向き合い、専門職として必要な支援ができるよう取り組んでいる。	入所施設実習において、自己の課題と向き合い、実習担当職員のアドバイスを生かし、専門職として必要な知識や技術の向上に取り組んだ。	入所施設実習において、自己の課題と向き合い、専門職として必要な知識や技術の向上に取り組んだ。	入所施設実習において、専門職として必要な知識や技術の向上に取り組んだ。

提出物	実習日誌、介護過程の課題
評価方法	施設の実習担当職員が、実習に対する取り組み状況等を総合的に評価 A：5点 B：3点 C：2点 D：1点 E：0点
評価割合（％）	知識・技術：40％ 思考・判断・表現：30％ 主体的に学習に取り組む態度：30％
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格

学習計画		単元名	学習内容	評価方法	備考
前期	第1回 回 考 査 ま で	介護実習Ⅱ	施設実習①～⑤  5/13(水)・20(水)・ 27(水) 6/3(水)・10(水)	①知識・技能 実習担当職員による評価票  ②思考・判断・表現 実習担当職員による評価票  ③主体的に学習に取り組む態度 実習担当職員による評価票	考査なし
	第2回 回 考 査 ま で	介護実習Ⅱ	施設実習⑥～⑯  6/24(水) 7/1(水)・8(水)・ 15(水) 夏季休業中 5日間 8/26(水) 9/2(水)	①知識・技能 実習担当職員による評価票  ②思考・判断・表現 実習担当職員による評価票  ③主体的に学習に取り組む態度 実習担当職員による評価票	
後期	第3回 回 考 査 ま で			①知識・技能   ②思考・判断・表現   ③主体的に学習に取り組む態度	
	第4回 回 考 査 ま で			①知識・技能   ②思考・判断・表現   ③主体的に学習に取り組む態度	

準備物及び学習へのアドバイス 等

- ① 評定は、施設実習の評価を反映させて、第1回考査と第2回考査に出します。  
 ② 「介護過程」及び「介護総合演習」と関連付けて指導を行います。

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	必修・選択の別	必須
単位数	3	履修学年	2	履修学科	福祉科
使用教科書	実教出版 こころとからだの理解			副教材等	なし
分割履修の有無（学年）		有（1・2学年）		授業形態	一斉（座学）

### 科目の到達目標

- 障害の概念や特性、支援する制度など障害について理解するとともに、関連する技術を身につける。
- 障害に伴う身体的、心理的、社会的な影響などについての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠にもとづいて創造的に解決する能力を身につける。
- 障害や障害を取り巻く状況について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身につける。

知識及び技術	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
障害による心理面や身体機能の変化と日常生活への影響などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	障害についての課題を発見し、さまざまな知識・技能や情報、他科目の学習内容を活用した解決方法を考察することができた。	障害の症状に応じた生活や課題等について主体的に理解しようとする姿勢が見られ、主体的かつ協働的に学習に取り組むことができた。

### 学習の評価

	学習活動、指導上の留意点等	A：十分に到達できている	B：一部は到達できている	C：到達に努力を要する
知識・技術	障害による心理面や身体機能の変化と日常生活への影響などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けた。	障害による心理面や身体機能の変化と日常生活への影響などについて理解するとともに、関連する技術を身に付け、応用的な考察につなげた。	障害による心理面や身体機能の変化と日常生活への影響などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けた。	障害による心理面や身体機能の変化と日常生活への影響などについて理解しようとし、関連する技術を身に付けようと努力をした。
思考・判断・表現	障害についての課題を発見し、さまざまな知識・技能や情報、他科目の学習内容を活用した解決方法を考察することができた。	障害についての課題を主体的に発見し、さまざまな知識・技能や情報、他科目の学習内容を活用した解決方法を多角的に考察することができた。	障害についての課題を発見し、さまざまな知識・技能や情報、他科目の学習内容も活用した解決方法を考察することができた。	障害についての課題発見に努め、さまざまな知識・技能や情報、他科目の学習内容を活用した解決方法を見出そうとした。
主体的に取り組む態度	障害の症状に応じた生活や課題等について主体的に理解しようとする姿勢が見られ、主体的かつ協働的に学習に取り組むことができた。	障害の症状に応じた生活や課題等について主体的に理解しようとする姿勢が積極的に見られ、主体的かつ協働的に学習に取り組むことができた。	障害の症状に応じた生活や課題等について主体的に理解しようとする姿勢が見られ、主体的かつ協働的に学習に取り組むことができた。	障害の症状に応じた生活や課題等について主体的に理解しようとする姿勢が見られ、主体的かつ協働的に学習に取り組もうと努力した。

提出物	学習プリント、各種課題レポート（タブレット端末によるものも含む）
評価方法	年4回定期考査（観点別の問題）、小テスト、各種提出物、課題やグループワーク等の学習への取り組み状況等を観点別に照らし合わせ総合的に評価
評価割合（%）	知識・技術（50）：思考・判断・表現（30）：主体的に学習に取り組む態度（20）
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格、介護職員初任者研修、社会福祉介護福祉検定

学習計画		単元名	学習内容	評価方法	備考
前 期	第1回 回 考 査 ま で	第5編 障害の理解 第1章 障害の基礎的理解	1 障害の概念 2 障害者福祉の基本理念	①知識及び技能 定期考査、 小テスト等の総合評価 ②思考力、判断力、表現力等 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価 ③学びに向かう力、人間力等 課題への取り組み状況、 小テスト等の総合評価	
	第2回 回 考 査 ま で	第2章 生活機能障害の理解	1 身体障害 2 精神障害 3 知的障害 4 発達障害 5 高次脳機能障害 6 難病	①知識及び技能 定期考査、 小テスト等の総合評価 ②思考力、判断力、表現力等 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価 ③学びに向かう力、人間力等 課題への取り組み状況、 小テスト等の総合評価	
後 期	第3回 回 考 査 ま で	第3章 障害に伴う心身の変化と日常生活	1 障害のある人の心理 2 障害に伴う機能の変化と日常生活への影響	①知識及び技能 定期考査 小テスト等の総合評価 ②思考力、判断力、表現力等 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価 ③学びに向かう力、人間力等 課題への取り組み状況、 小テスト等の総合評価	
	第4回 回 考 査 ま で	第4章 障害と地域生活支援	1 障害のある人の地域生活上の困難と支援 2 障害のある人の地域サポート体制 3 家族への支援	①知識及び技能 定期考査 小テスト等の総合評価 ②思考力、判断力、表現力等 定期考査、ワーク、 小テスト等の総合評価 ③学びに向かう力、人間力等 課題への取り組み状況、 小テスト等の総合評価	

準備物及び学習へのアドバイス 等

準備物：教科書、ファイル、タブレット端末

アドバイス：「こころとからだの理解」は「生活支援技術」に密接に関わっている科目のため、「生活支援技術」の学習内容も理解を深めておくように。

教科	福祉	科目	介護過程		必修・選択の別	必修
単位数	4	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	福祉706 介護過程			副教材等		
分割履修の有無(学年)	無		授業形態	一斉		

科目の到達目標		
①福祉に関する他の科目で学んだ知識と技術を統合し、介護過程の展開を理解し、技術を身に付けさせる。 ②介護過程の展開に関する課題を発見し、倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けさせる。 ③サービス利用者主体の介護過程を展開するため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組ませる。		
知識及び理解	思考力, 判断力, 表現力	学びに向かう力, 人間性等
介護過程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

学習の評価				
	学習活動, 指導上の留意点等	A:十分に到達できている	B:一部は到達できている	C:到達に努力を要する
知識・技能	講義や事例演習などを通して、介護過程の意義と役割、展開、実践的展開、チームアプローチについて理解する。	講義や事例演習などを通して、介護過程の意義と役割、展開、実践的展開、チームアプローチについて理解し、介護場面で活用している。	講義や事例演習などを通して、介護過程の意義と役割、展開、実践的展開、チームアプローチについて理解している。	講義や事例演習などを通して、介護過程の意義と役割、展開、実践的展開、チームアプローチについて理解していない。
思考・判断・表現	ICFの視点を活用した利用者の全体像の理解や利用者の望む生活の実現ができるよう、科学的な根拠に基づいた介護過程が展開できる。	ICFの視点を活用した利用者の全体像の理解や利用者の望む生活の実現ができるよう、科学的な根拠に基づいた介護過程を展開している。	ICFの視点を活用した利用者の全体像の理解や利用者の望む生活の実現ができるよう、介護過程を展開している。	ICFの視点を活用した利用者の全体像の理解や利用者の望む生活の実現ができるよう、介護過程を展開していない。
主体的に取り組む学習態度	課題等の実践的な活動を通して、自身の課題を明確にし、主体的に解決を図ることができる。	課題等の実践的な活動を通して、自身の課題を明確にし、リーダーシップを発揮して主体的に解決を図っている。	課題等の実践的な活動を通して、自身の課題を明確にし、主体的に解決を図っている。	課題等の実践的な活動を通して、主体的に解決を図っていない。

提出物	振り返りシート、課題(ワークシート、レポート)
評価方法	評価の観点別に、考査や提出物(振り返りシートや課題)、学習への取り組み状況などを総合的に評価
評価割合(%)	知識・技術:50%(考査40%・考査以外10%) 思考・判断・表現:30%(考査20%・考査以外10%) 主体的に学習に取り組む態度:20%
関連する資格・検定	社会福祉・介護福祉検定 1級~2級 介護福祉士国家試験

学習計画		単元名	学習内容	評価方法	備考
前期	第1回 回 考 査 ま で	第1編 介護過程の意義と役割  第2編 介護過程の展開  第3編 介護過程の実践的展開	第1章 介護職の役割 第2章 介護過程の意義  第1章 アセスメント  第1章 アセスメントの実際	①知識・技能 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ②思考・判断・表現 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 課題、振り返りシート等の総合評価	施設実習 ①～⑤
	第2回 回 考 査 ま で	第2編 介護過程の展開  第3編 介護過程の実践的展開	第2章 介護計画の立案 第3章 介護計画の実施 第4章 介護計画の評価  第2章 介護過程の実際	①知識・技能 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ②思考・判断・表現 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 課題、振り返りシート等の総合評価	
後期	第3回 回 考 査 ま で	第4編 介護過程とチームアプローチ	第1章 介護過程とチームアプローチの意義  第2章 介護過程とチームアプローチの実際	①知識・技能 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ②思考・判断・表現 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 課題、振り返りシート等の総合評価	
	第4回 回 考 査 ま で	介護福祉士国家試験受験に向けて	問題演習	①知識・技能 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ②思考・判断・表現 考査、課題、振り返りシート等の総合評価  ③主体的に学習に取り組む態度 課題、振り返りシート等の総合評価	

準備物及び学習へのアドバイス 等

- ①コミュニケーション能力や観察力、判断力、思考力などを身に付けることができるよう、事例演習やロールプレイ等を取り入れます。
- ②「介護総合演習」及び「介護実習」と関連付けて指導を行います。
- ③介護福祉士国家試験の「介護過程」の試験科目（8問出題）に該当します。